

燕出身の日本画家・鈴木国男さん

燕市出身の日本画家鈴木国男さん(50)は神奈川県在住。7月5日から23日まで、米国ニューヨーク(NY)市で海外では自身初となる個展を開く。期間中はNY新潟県人会の協力により、本酒の試飲会も実施。作品の売り上げの一部は東日本大震災の義援金に充てる。鈴木さんは「活動の幅を広げたい」と開催を心待ちにしている。



「世界の美術をリードするニューヨークでの個展の反響が楽しみ」と話す鈴木国男さん。手前は自身の作品のポストカードセット。神奈川県相模原市

る舞う。

鈴木さんは「世界が目指す日本の水は、津波だと思つ。私の作品を通して日本の水の良い面を伝えられたらうれし

同日はNY県人会の協力で来場者に日本酒を振

「活動幅広げる」 NYで来月個展

県人会協力 日本酒の試飲会も

鈴木さんは三桑高校在学中に日本画を始め、多摩美術大学大学院を修了。観衆の前で即興で作品を描くを型にはま

今回の個展は、自身のホームページを、NYの画廊「Contemporary Art Network (CAN)」の担当者が見て、連絡を

日本収録

あつ心なテ章で構成。押し寄せた津波に飛び込

リストの池上彰氏はあとがきで、河北新報社(仙台市)の制作システムの機能が震災で失われたが、新潟日報社の協力で、新聞発行を一日も休まな

つて見す知らずの母子を助けた男性、防災無線で住民に避難を呼び掛けながら自分は犠牲になった役職員、避難所で壁新聞をつつて住民を励ま

知っている。224卒。定価千円税込み。収益はすべて義援金として寄付される。

知っている。224卒。定価千円税込み。収益はすべて義援金として寄付される。

す中学生を取材したニュースなどを盛り込んだ。編者を務めたジャーナ

224卒。定価千円税込み。収益はすべて義援金として寄付される。

旧新潟駅 (新潟市)



新潟鉄道博2011 in 朱鷺メッセ

8月15日~28日

「へー、これが新潟駅?」。どこかの田舎駅のようなが、新駅移転直前の様子である。場所は現在の弁天公園のそばで、今は跡形もない。電化前とあつて、古くさく見える。ホームに停車中の蒸気機関車は2両とも新潟では最新形式だったC57。右端には既に機能移転した旧貨物取扱所も見える。

1958(昭和33)年、鉄道友の会新潟支部会員提供

にいがた鉄道の記憶 18

新潟鉄道博 お得な前売券

大人 1000円
子ども 500円
親子券 1300円